

# 別紙

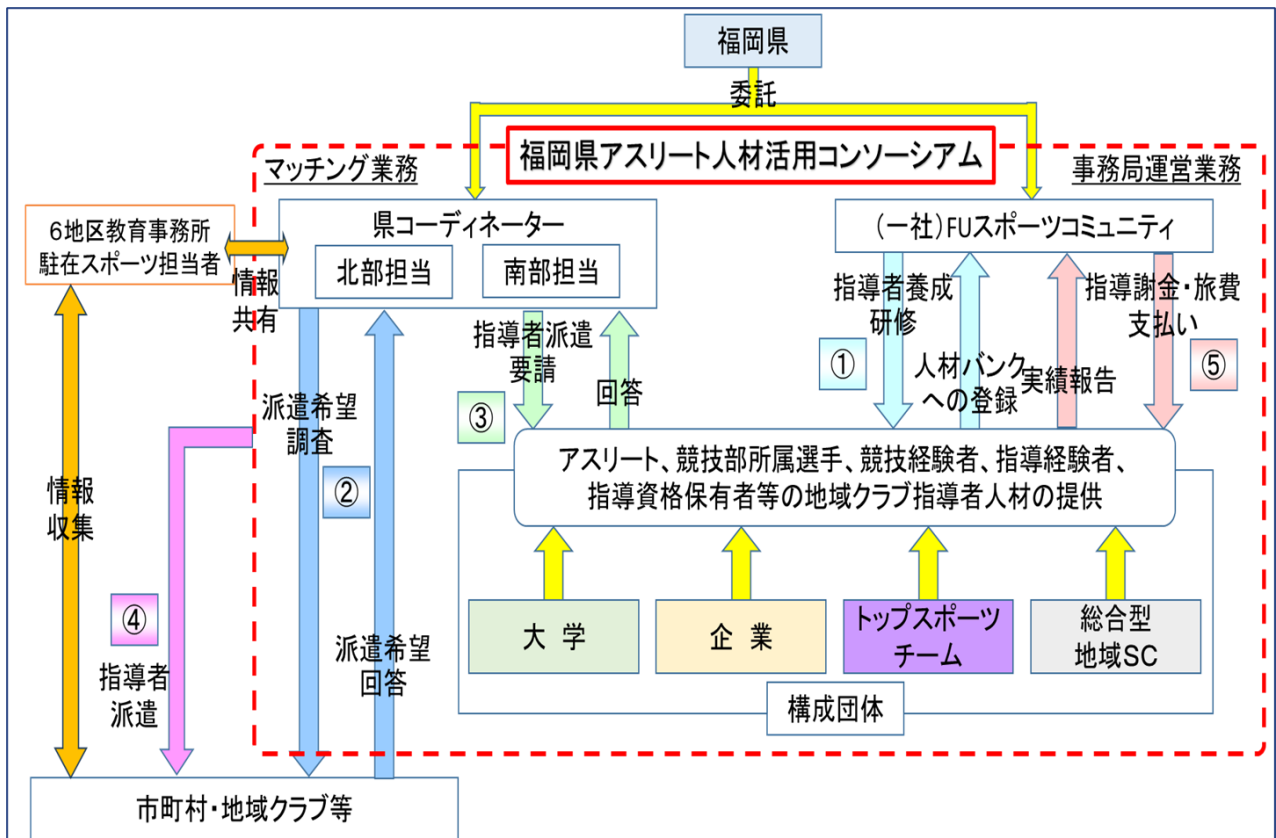
## 1. 昨年度の成果

- コンソーシアムを拡充し、4大学（福岡大学、九州共立大学、九州産業大学、日本経済大学）、4企業（ANA あきんど、itoiX、ALSOK 福岡支店、アクセス・ジャパン）、6チーム（アビスパ福岡、ギラヴァンツ北九州、ライジングゼファークオカ、九州カーリーナ、福岡ギラソール、九州ハニーズ）で組織。（※令和6年度は2大学、2企業）
- 216名の指導者を養成し、15市町村（27クラブ）に計96回、指導者を派遣。
- 福岡大学、九州共立大学で参集型の指導を実施。（参加者875人、指導者168人）
- 指導者と市町村のマッチングを専任する県コーディネーターを配置。

## 2. 昨年度の課題

- 指導者養成研修会の開催時期とスケジュール調整に労を要したため、柔軟（実施地域、時間帯など）かつ計画的な対面研修会の実施が必要。
- 大学の部活動やスポーツチームの活動と、地域クラブ活動の時間帯が重複したため、平日や休日の午後・夕方における地域クラブ活動の実施の検討が必要。
- 市町村の個別のニーズに対応する上でのコーディネート業務が煩雑だったため、県コーディネーターの複数配置及び地域コーディネーターの配置による連携強化が必要。

## 3. 今年度の事業スキーム



## 4. 今年度の目標

- 200名以上の指導者を養成・確保する。
- 県内20市町村以上に指導者を100回以上派遣する。
- 大学施設以外の会場で参集型の指導を実施する。
- 休日のみならず、平日の派遣を試行し、その成果や課題を共有する。